平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月30日

上場会社名　株式会社 ニフコ　　上場取引所　東
コード番号　7988　URL　http://www.nifco.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 山本　利行
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員グローバル経営管理本部長　(氏名) 本多　純二　TEL 03-5476-4853

四半期報告書提出予定日　平成25年8月8日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	41,136	21.8	3,223	15.0	3,882	44.2	1,091	△13.1
25年3月期第1四半期	33,768	25.2	2,802	17.4	2,693	21.9	1,256	16.8

(注)包括利益　26年3月期第1四半期　5,368百万円　(30.3%)　25年3月期第1四半期　4,119百万円　(69.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	20.69	―
25年3月期第1四半期	23.72	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	176,492	93,571	51.8	1,734.22
25年3月期	178,775	89,538	49.0	1,661.36

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　91,510百万円　25年3月期　87,641百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	23.00	―	24.00	47.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		23.00	―	24.00	47.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	73,000	7.1	5,000	△7.4	5,000	△4.6	2,800	△6.9	53.08
通期	150,000	7.2	11,500	9.0	11,000	0.5	7,000	30.9	132.69

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	53,754,477 株	25年3月期	53,754,477 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	987,009 株	25年3月期	1,001,657 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	52,759,966 株	25年3月期1Q	52,976,050 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益及び包括利益計算書 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
（５）連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（６）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間のわが国経済は、為替の円安を受けて輸出関連企業を中心に業績改善期待が高まりました。海外では中国で景気減速懸念があったものの、北米およびアジアで好調に推移しました。

当社グループの主要顧客であります国内自動車メーカーにおきましては、国内の生産台数は、前年同期比から減少傾向でありますが、海外においては北米・アジアを中心に大きく伸び、また海外自動車メーカーにおきましてもアジアでの生産、販売の伸びも見られ好調に推移しました。

このような状況のなか、当社グループの当第１四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比21.8％増の411億３千６百万円となりました。

一方、利益面では、売上高の増加に伴う利益増があり、連結営業利益は前年同期比15.0％増の32億２千３百万円となりました。連結経常利益につきましては、為替効果もあり前年同期比44.2％増の38億８千２百万円となりました。連結四半期純利益につきましては、過年度法人税を７億５千３百万円追加計上したこともあり、前年同期比13.1％減の10億９千１百万円となりました。

①合成樹脂成形品事業

合成樹脂成形品事業は、国内においては低下傾向が見られますが、海外では中国を除くアジアでの伸張や、北米・欧州などで好調に推移しました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の合成樹脂成形品事業の売上高は前年同期比22.4％増の359億６千１百万円となりました。営業利益は、販売の増加による利益増がありましたが、生産拠点拡充等の費用負担もあり、前年同期比4.8％増の37億８千６百万円となりました。

②ベッド及び家具事業

ベッド及び家具事業は、「シモンズベッド」としての高級ブランド戦略が奏功し、特に国内においては昨年に引き続き、順調に推移しました。この結果、当第１四半期連結累計期間のベッド及び家具事業の売上高は前年同期比21.0％増の46億３千５百万円となりました。営業利益につきましては、小山工場の稼働率の向上効果もあり、前年同期比45.7％増の６億４千１百万円となりました。

③その他の事業

その他の事業は主に新聞及び出版事業であります。当第１四半期連結累計期間のその他の事業の売上高は、メディアの多様化及び広告収入の減少等により、前年同期比3.8％減の５億３千９百万円となりました。営業損失は５千５百万円（前年同期の営業損失は３千８百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ22億８千３百万円減少して、1,764億９千２百万円となりました。主な減少要因は、有形固定資産の増加39億３千７百万円や取引の増加に伴い受取手形及び売掛金が22億４千万円増加したものの、現金及び預金の減少119億１千７百万円などがあったことによるものであります。

当第１四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ63億１千５百万円減少し829億２千１百万円となりました。主な減少要因は、長期借入金の増加53億４千８百万円や取引の増加による支払手形及び買掛金の増加11億３千９百万円があったものの、１年内償還予定の社債の減少150億円などがあったことによるものであります。

当第１四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ40億３千２百万円増加し935億７千１百万円となりました。主な増加要因は、為替の円安等により為替換算調整勘定が37億８百万円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年５月13日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

１ たな卸資産の評価方法

四半期連結会計期間末におけるたな卸高の算出に関して、実地たな卸を省略し前連結会計期間年度末の実地たな卸高を基礎として、合理的な方法により算出する方法によっております。また、たな卸資産の簿価切下げについては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

２ 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

３ 繰延税金資産及び負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められた場合に、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②特有の会計処理の適用

税金費用の計上基準等

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,774	36,857
受取手形及び売掛金	31,830	34,070
有価証券	6,696	7,390
商品及び製品	10,225	11,182
仕掛品	2,798	2,478
原材料及び貯蔵品	4,418	4,816
繰延税金資産	1,288	1,385
その他	3,512	4,316
貸倒引当金	△92	△103
流動資産合計	109,453	102,393
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,255	22,864
機械装置及び運搬具（純額）	11,400	12,200
金型（純額）	3,026	3,241
工具、器具及び備品（純額）	2,570	3,138
土地	15,725	16,147
建設仮勘定	4,032	5,354
その他（純額）	22	25
有形固定資産合計	59,035	62,972
無形固定資産		
のれん	368	370
その他	2,812	3,019
無形固定資産合計	3,180	3,390
投資その他の資産		
投資有価証券	5,383	6,179
繰延税金資産	201	249
その他	1,538	1,344
貸倒引当金	△16	△37
投資その他の資産合計	7,106	7,736
固定資産合計	69,322	74,098
資産合計	178,775	176,492

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,068	15,208
1年内償還予定の社債	15,000	―
短期借入金	5,994	6,969
1年内返済予定の長期借入金	298	338
未払金	2,385	2,476
未払法人税等	2,164	2,293
繰延税金負債	23	108
賞与引当金	1,440	2,130
その他	9,421	8,948
流動負債合計	50,797	38,473
固定負債		
社債	22,533	22,760
長期借入金	10,291	15,640
繰延税金負債	2,664	3,024
退職給付引当金	2,183	2,331
その他	766	691
固定負債合計	38,439	44,447
負債合計	89,237	82,921
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,290	7,290
資本剰余金	11,651	11,651
利益剰余金	77,488	77,313
自己株式	△2,123	△2,091
株主資本合計	94,306	94,163
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	444	747
土地再評価差額金	△86	△86
為替換算調整勘定	△7,022	△3,313
その他の包括利益累計額合計	△6,664	△2,653
少数株主持分	1,897	2,060
純資産合計	89,538	93,571
負債純資産合計	178,775	176,492

（２）四半期連結損益及び包括利益計算書
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	33,768	41,136
売上原価	23,845	29,787
売上総利益	9,922	11,349
販売費及び一般管理費	7,120	8,125
営業利益	2,802	3,223
営業外収益		
受取利息	35	53
為替差益	―	548
その他	224	230
営業外収益合計	260	832
営業外費用		
支払利息	98	127
為替差損	208	―
その他	62	45
営業外費用合計	369	173
経常利益	2,693	3,882
特別利益		
投資有価証券売却益	―	13
固定資産売却益	20	3
その他	1	0
特別利益合計	22	17
特別損失		
固定資産処分損	8	102
その他	16	15
特別損失合計	24	117
税金等調整前四半期純利益	2,690	3,782
法人税等	1,332	1,848
過年度法人税等	―	※　753
少数株主損益調整前四半期純利益	1,357	1,180
少数株主利益	101	89
四半期純利益	1,256	1,091
少数株主利益	101	89
少数株主損益調整前四半期純利益	1,357	1,180
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△195	303
為替換算調整勘定	2,957	3,884
その他の包括利益合計	2,761	4,187
四半期包括利益	4,119	5,368
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,912	5,103
少数株主に係る四半期包括利益	206	265

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（連結損益計算書関係）

※　過年度法人税等

主にタックスヘイブン対策税制適用に基づく更正処分によるものであります。

（６）セグメント情報等

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日 至平成24年６月30日）

〔報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報〕

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注1）	合計	調整額（注2）	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額（注3）
	合成樹脂成形品事業	ベッド及び家具事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	29,378	3,829	33,208	560	33,768	－	33,768
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	0	0	26	27	△27	－
計	29,379	3,829	33,208	587	33,796	△27	33,768
セグメント利益又は損失（△）	3,611	440	4,052	△38	4,014	△1,211	2,802

（注）１．その他には、新聞及び出版事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額△1,211百万円は、全社費用△1,085百万円及びセグメント間取引消去△126百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

（参考情報）

〔所在地別セグメント情報〕

（単位：百万円）

	日本	アジア	北米	欧州	合計	消去又は全社	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	17,370	10,335	4,011	2,051	33,768	－	33,768
(2) セグメント間の内部売上高	1,229	953	5	3	2,192	△2,192	－
計	18,600	11,289	4,016	2,054	35,961	△2,192	33,768
営業利益又は損失（△）	2,292	1,170	257	△69	3,650	△848	2,802

（関連情報）

〔地域ごとの売上高情報〕

（単位：百万円）

	日本	韓国	アジア(注2)	アメリカ	北米(注3)	欧州	その他	合計
売上高(注1)	17,262	4,157	6,210	3,402	726	1,969	38	33,768

（注）１.売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

２.アジアの数値は韓国の売上高を含んでおりません。

３.北米の数値はアメリカの売上高を含んでおりません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成25年４月１日 至平成25年６月30日）

〔報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報〕

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注1）	合計	調整額（注2）	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額（注3）
	合成樹脂成形品事業	ベッド及び家具事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	35,961	4,635	40,597	539	41,136	－	41,136
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	0	0	30	30	△30	－
計	35,962	4,635	40,597	569	41,167	△30	41,136
セグメント利益又は損失（△）	3,786	641	4,427	△55	4,372	△1,149	3,223

（注）１．その他には、新聞及び出版事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額△1,149百万円は、全社費用△1,180百万円及びセグメント間取引消去30百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

（参考情報）

〔所在地別セグメント情報〕

（単位：百万円）

	日本	アジア	北米	欧州	合計	消去又は全社	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	16,617	14,670	6,794	3,053	41,136	－	41,136
(2) セグメント間の内部売上高	1,324	1,004	6	10	2,345	△2,345	－
計	17,941	15,674	6,801	3,064	43,481	△2,345	41,136
営業利益	2,085	1,542	201	102	3,931	△708	3,223

（関連情報）

〔地域ごとの売上高情報〕

（単位：百万円）

	日本	韓国	アジア(注2)	アメリカ	北米(注3)	欧州	その他	合計
売上高(注1)	16,665	5,863	8,555	6,171	901	2,885	93	41,136

（注）１.売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

２.アジアの数値は韓国の売上高を含んでおりません。

３.北米の数値はアメリカの売上高を含んでおりません。